常磐毎日新聞
日刊
夕刊　五月廿一日
定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社

山野の雑草から
綿が出來る
石山氏の新發見
試驗所の折紙が付いて愈よ事業化の緒に着く
先づ原料の蒐集

石山式の『石綿ムシカマド』の名を以つてその製品を廣く全國に搬出し今や郷土產業の上に重きを爲す少壯有爲の產業人材木町石山忠三氏は時局下の重大性に鑑み何等か寄與する處あらんと科學に造詣深い親友數名と共に野生の植物から製綿する方法に關し日夜研究中の處、山野に群生するカラムシ及びアカソの雜草を藥品淨化して立派な綿を精製する發見に成功しそれ精撰綿を横濱纖維試驗所、帝國製麻會社等に鑑定を乞ふた結果、その質が强靱で防水性に富み且つ保溫力が强大であつて輸入綿花に劣らぬ優秀品であるとの折紙を附せられたので是れに力を得、愈よ事業化して製造を開始する事となり縣學務課や縣農會の協力を受け縣內各地に群生する「アカソ」「カラムシ」等の原草を小學校生徒の手を通じて蒐める事となり目下準備中である

右の原草は完全乾燥剝皮一貫目に付き一圓五十錢の割で購入するものであり運賃は荷主側の負擔であるが一貫目につき栽培奬勵金として五十錢宛を附加するから皆で安心して採集に從事する事の出來る樣に農會や學校に相當額の保證金を提供するとの事であるから堅實な農家の副業として國策線に貢獻する處は甚大であらう、昨日來石山氏の所有工場には『東北纖維化學研究所』の看板が建ち愈よ本格的の事業開始の緒についたものの如く綿不足の惱みが深刻である折柄同事業の飛躍は刮目さるゝ處である

一戸一人宛
學校工事に出役
四倉町の決議

四倉町では小學校增築工事に一戸一人宛義務的に出役することに此程區長會で決定した

成田氏赴任

平

平郵便局郵便主事から秋田郵便局保險課長に榮轉した成田鍛雄氏は明廿二日午前八時三十分平驛發で出發赴任の途に着くと

麥作が順調
農村活氣を呈す
增產に萬全

本郡農會では銃後農村食糧問題對策として麥作增加を督勵して來たが麥作の發育は頗る順調、早いのは昨今出穗に掛り今月中には全部結實を見る模樣で豫想以上の好成績に各町村共相當活氣を呈し收穫、處理に對する注意をなし增產に萬全を期して居る

滑空機
平市を旋回

オリンピア型滑空機は豫定の通り小名濱港海岸に一夜翼を休め廿日午前九時出發、間もなく平市上空に現はれ全市民に敬意を表して一旋回の後遙か北方に機影を沒した

在米調査の
打合會を開く

平市並びに石城郡下の在米調査打合會は廿三日午前十時から平國体事務所で開かれると

上平窪溜池完成
けふ竣工式を擧行

平市上平窪鼠田地內溜池工事は工費五千圓で修築中の處此程完成したので今廿一日午前十時から宵沼市長や土木委員臨席の下に竣工式を擧行した

國體學講演
里見講師來平

『八紘一宇』の語は廣く行はれて居るが其の眞意義が未だ市民の間に充分徹底されてないのを遺憾とし平市役所は在郷軍人分會や青年團と合同主催の許に廿三日午後六時から市公會堂に於て里見岸雄氏の八紘一宇の眞意義宣揚大講演會を開催する

里見講師は日本國体學會長であり、また十五年の歷史ある里見日本文化研究所長でその盛名は日本學界を壓して居る

『友の會』の感激
出席中の金成夫人通信

平市に於ける婦人の友愛讀者の團体である平友の會は管間監督判事の夫人が來平後その指導を受けて益々强固な地步を劃しつゝあり每週金曜日を期し當番制で各會員の家庭に例會を開き修養や生活改善の研究に努めて居るが東京市に全國友の會大會が開かれる爲め金成醫師夫人並に松野尾辯護士夫人が平友の會を代表出席中の處本日金成夫人から左の如き通信があつた

（前略）十六日は全國友の會大會が日本青年會館に開かれ午後は本當に思はさる光榮に浴する事が出來ました、其事は歸平後申上げますが十七日は目白學園の明日館にミセス羽仁を中心にとても感激的な協議會が開かれ本當に私共の力の足らざる事持つて居る力の出し方の下手な事、生活を改めねばならぬ事等々數多く學び得ましたのは感激に次ぐ感激の連續で御座います、十八日も目白に、今十九日は南澤の自由學園にとても和やかなよい會合に出席出來まして只今歸つた處です、明日は協議と閉會式があります いづれ歸平の後、土產話を御披露致しませう

置時計竊取

秋田縣生れ住所不定前科三犯遠藤修治（四六）は廿日午前八時頃好間村北好間日曹小田炭礦坑夫吉田武七方不在中に忍入り價格十圓の置時計を盜んで內郷村地內を徘徊中を平署員に捕へられたが餘罪ある見込み

看護婦姿の
飛込み屍体
現場に化粧品

內郷村高坂字大牧地內常磐線に廿日午前五時頃看護婦姿の轢死体あり平署員檢視の結果所持の認印と櫛とによつて仲田みさよと判明したが其他は不明、化粧品一揃へと八十錢入のハンドバックを遺棄されてあつた

爆發事件は
自然發火
長倉坑椿事

廿日午前六時四十分頃磐崎村字長倉磐城炭礦北進斜坑一卸切羽に突如ガス爆發あり採炭夫十五名が重輕傷を負ふたが原因は自然發火と見られて居る

有望な炭山を
世話すると
僞り大金騙取

石城郡上遠野村瀧居住耶麻郡賀川村生れ無職長谷川光雄（三三）は今月初旬植田町志富川鑛泉で知り合つた相馬郡眞野村多田博氏に有望な炭山を世話すると稱し旅費や手付金の名義で六百五十圓を騙取遊興に費消した事發覺昨廿日植田署に檢擧された

一萬圓の
見直す夢
磐城無盡の賣出し好評

平地方の報國債券は割當の少い關係から容易に入手出來ず一萬圓の夢を追ふ人々を少からず落膽させてゐるが平市大町磐城無盡會社ではこの落膽組に大いに同情？して全國無盡中央會の手を經て得た五圓券二千枚、十圓券千枚合計三千枚を二十日から窓口で賣出し好評を博した

ラヂオ

今晚の部

▼後六、〇〇　子供の時間　滿洲だより（一）風俗　伊東貢一ほか
▼後六、一五　講演「戰時食料報國運動に就いて」農林次官荷見安
▼後七、一〇　鄕土に寄する言葉　新城和一
▼後七、四〇　連續講談「前原伊助」（第三夜）一龍齋貞山
▼後八、一〇　合唱…東京放送合唱團ほか
▼後八、四〇　靑年の時間「科學精神と生活」中野友禮
▼後九、〇〇　新京より開發リポート「一漁村滿洲」（錄音）
▼後九、一〇　民謠めぐり「南九州の卷」古鍗愛子

明日の部

▼前九、四五　幼兒の時間（リズムあそび）ドウブツゴツコ　小林宗作
▼前一〇、二〇　家庭の時間「注意すべき初夏の育兒」醫學博士和泉成之
▼前一一、〇〇　小學生の時間（尋三）唱歌「靑葉」外東京子供唱歌隊
▼後〇、〇五　ラヂオコメディ「七不思議ハイキング」
▼後二、〇〇　小學生の時間（高等科）お話「紙が出來る迄」鷲山重雄
▼後三、〇〇　婦人の時間「醫療の普及と健康保險」保險院醫務課長網島覺左衛門
▼後三、三〇　敎師の時間　現代國語講座「國語と國民性」東京文理大敎授保科孝一
▼後四、三〇　夏場所大相撲實況（十四日目）
▼後六、〇〇　子供の時間　偉人傳「ある日の本居宣長」三輪壽雄
▼後六、二〇　座談會「空の魅惑を語る」航空局仙臺乘員養成所敎官岩林劍ほか
▼後七、一〇　鄕土に寄する言葉（錄音）詩人高橋掬太郎
▼後七、三〇　國民歌謠
▼後七、四〇　講演「歐洲諸國の戰時財政」經濟學博士井藤半彌
▼後八、〇〇　浪花節「赤穗の人妻」梅中軒鶯童
▼後八、三〇　ラヂオ時局讀本「節米はどうしてするか」
▼後八、四〇　錄音「川」
▼後九、〇〇　連續物語「太閤記」…羽柴時代…（一）市川八百藏

小名濱支局通信

小名濱漁場の活況

支局長　小野務平

小名濱漁場が昨年秋から本年春にかけて揚繰網漁業に依つて最高七十萬圓、最低二十萬圓と云ふ水揚漁獲高を占め船主の懷中が俄然膨脹し來つた事は本町躍進上尤も有力なる礎石である事は云ふまでもない、此の莫大なる水揚げと共に其枝葉に係る製造業、加工業又遂に莫大の利益を占めと相俟つて多大の膨脹を見るに至つた事は何と云ふても漁場ならでは當底味ひ得る甘味である。

而して共殆と空前とも云ふべき大漁も五月に入りて十七條の漁船は僅に三四艘と減じ玆に漁季の變換期となつた、そして十五年の鰹漁季と變つたのである。

鰹漁季は本港は地船と稱するものなく何れも廻船に依つて其水揚げを算するものであつたが本年度は東日本漁業株式會社第二日本丸の鰹漁乘り出しに依つて第一航海に於て六千尾、一萬圓內外の水揚げを見、更に今朝七千尾と云ふ第二回の漁獲を見るに至り東日本丸の吉報は櫛の齒を引くが如くに報導して來た。

其間に於ても中ノ作福田丸の一萬尾などの水揚げを見るに至つては小名濱港の有卦に入ると見る事が誠に當然で之れに對しては何人も異論のない處である、本年度初期に於て此の大漁の吉報は二町民をして眞底から躍動せしむるに足るもので小名濱漁場大萬歲を連呼せざるを得ない處である さるにも小名濱漁港の將來を眺むる時聊か悲觀せざるを得ない處である。

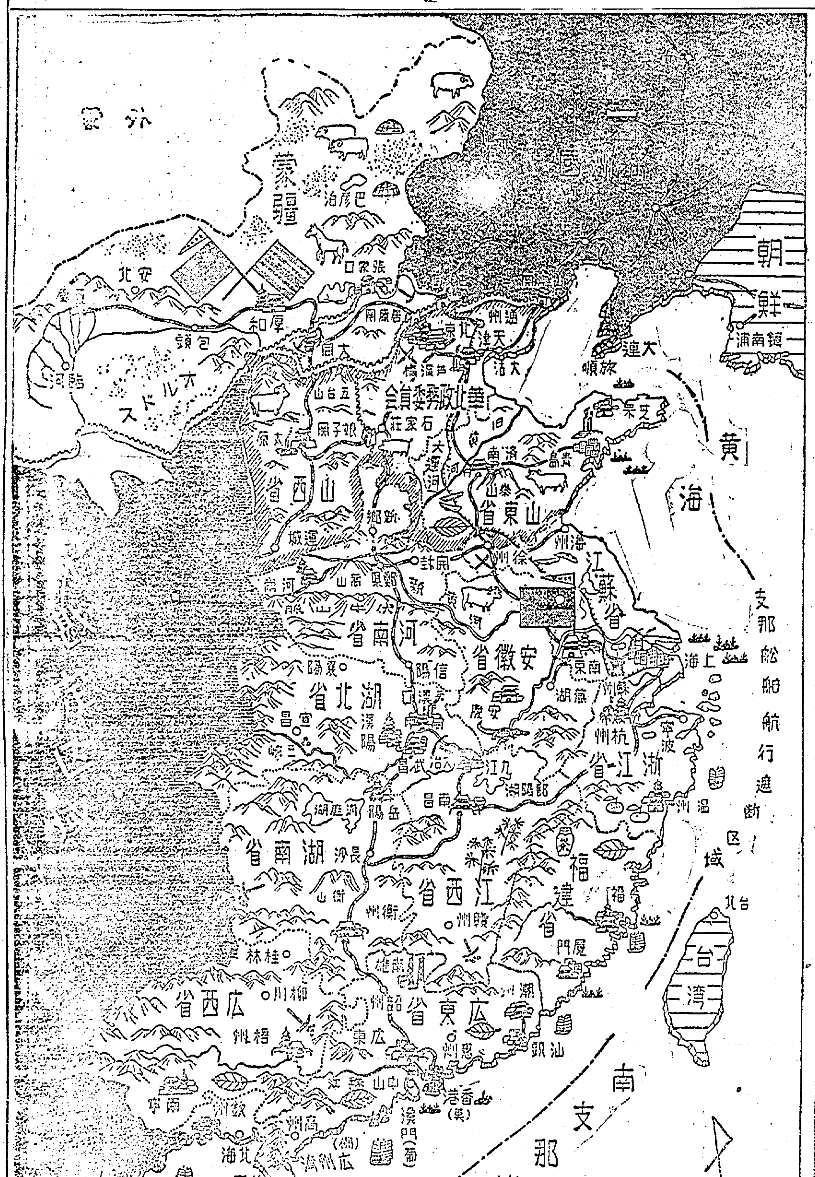
形は商港未完成から來たる漁港の受くる側杖は決して觀過し得ない處であつて此儘放置しあらば遂に漁港すら泥土に委するの已むなきに至は論のない處である、玆に記者は此幸先多い本港をして萬全の安神を置かるゝ方針に出で以て此の水揚げ漁船に對しても萬遺漏なきを期せされず遂に救ふべからざる失態を釀するに至るなきを保し難いのである。

二萬町民各位の協同一致漁港擁護の大運動を起すの必要ある事を此機會に婆心を披瀝する次第である。

（完）

小兒科內科
酒井醫院
◎入院隨意
（電話五五）
醫學博士酒井保
平市字南町

支那新政權の勢力圈要圖



フクジケン獨特の
▼とんかつ
▼特製燒かつ
福壽軒食堂
平驛前・電二八番

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下　電話六七四番

吉田眼科醫院
平市紺屋町　電話六八番
醫學士　吉田久雄

松井勇軒傳

まついゆうけんでん

第七十八回
勘藏の弟子入り

病氣の爲めに引けかと案ぜられました高橋源九郎、流石は一流の花形劍客だけあつて竹刀がピタリ青眼に構へ、右足を一步前へ進めてジリジリツと詰め寄つて行く所は大山の動く如く今まで悠々とした病氣の身とは思へぬ位でございます。勘藏大上段に構へ只一打と源九郎の面手を睨めると[illegible]いた、源九郎の身體は三尺に足らぬ竹刀の影に隱れむかと思ふばかり、髮の毛を突いた程の隙だにありません。ウーム此奴は大した腕前だ。と打込むも[illegible]ならずにヤツと氣合をかけて源九郎の體の崩れの生ずるのを待つて居る。所が源九郎、勘藏の面子を見て同じく[illegible]いた。[illegible]く[illegible]いたのではない。[illegible]付けの[illegible]見たいに[illegible]だらけだから呆れて[illegible]いたのでございます。源九郎は心中に何だ此んな未熟な腕前を以て大言を吐、とは[illegible]で狂つて居るのか。後學の爲め充分に打入れて呉れやうと同じく氣合をかけて暫らく睨み合つて居たが、勘藏の呼吸が詰つて面口へ隙を見せた、これが誘ひの隙と云つて態と敵に打込ませる。とは知らずに黑川勘藏、隙ぞとばかりに大喝一聲微塵になれと打込んだ、これが直面に受けては堪まらない、早くも[illegible]したか、勘藏[illegible]か」つて道場の床がイヤと云ふ程打つ叩いた、仕損じたか無念と取直さんとする所が早くも源九郎「一エッ」と云ふと共に勘藏の肩口をピシャリッと打つた。スルト何處までも卑怯な奴は黑川勘藏 勘「一か、掠つた……」源九郎聲つと怒り、掠つたなどゝは卑怯な奴、其の[illegible]なれば、今度は腦天を[illegible]所からポカリ、如何に[illegible]しい奴でもこれでは[illegible]らぬと言へない 勘「うゝまつゝ」と云はしも果さずポカツ 勘「イヽツ」ポカリ。勘「たア……參つた」[illegible]四度目で[illegible]まし[illegible]に參つた。

源「如何でござるか黑川先生」

勘「恐りました。イヤ恐れ入りました」

源「何なら今一本如何です」

勘「何うつかまつりまして」

源「左樣か。然し今後の[illegible]の爲め一言申して置く。餘り大言を吐きなさんなよ。天下の人は廣大にして上には上のあるもの、斯く申す高橋源九郎の腕前は未熟者なれど、世間には源九郎以上の人は澤山ある、餘り大[illegible]を拂ふとそれが爲めに身を[illegible]すやうな事がないとも限りません。自慢は[illegible]の行留まりとやら、今少し自重の上修業なされて宜しかろう」

源「先生、私にも少し言はして下さい、アイヤ黑川勘藏先生、如何[illegible]生はこれくらひなもの、それを病氣だの卑怯だの何だのと[illegible]を申す人がよりそれで日本全國の[illegible]が出來ましたな、[illegible]は大力十間[illegible]、勘藏ばかり[illegible]つて來られたのであらう、最初に打たれた時に參つたと言へば宜いものを、四回目になつて[illegible]まし[illegible]に[illegible]るなどゝはイヤハヤ呆れ果てた卑怯な振舞、それぐらひの腕前で他流試合などゝは片腹痛い、まあ[illegible]人形でも相手にして居なさるのが尤も宜しからうテ、我が高[illegible]先生は[illegible]ばかりではござらぬ、[illegible]じて[illegible]十八[illegible]、何れにも秀でゝ天上天下唯我獨尊の先生……」

源「コレ何を申す、黑川先生、それとも殘念だから今一度と仰有るか」

勘「イエ、もう沢山、どうもヘヤ[illegible]、[illegible]とは存じませず大きに御無禮を致して相済みません。何うか平に、御容赦下さるやう」

源「イヤお分りになれば以前も大きに失禮をいたしました。此の事は以來水に流してお心にかけられぬ樣に願ひたい、又、永く[illegible]にお在でなさるやうなれば相[illegible]の御[illegible]を致すでござらう」

勘「有難いお言葉、[illegible]の[illegible]に慨じて先生へ對して御無禮仕まつり[illegible]なく、其上[illegible]な[illegible]お願ひ申しましては[illegible]入りましたが[illegible]なれど、今日より先生の御門下に加へて[illegible]されたく」[illegible]して頼み入つた。

……小ばなし……

「畫餅てなんのことだい」
「繪にかいたもちのことさ」
「あゝ、近頃デパート食堂の見本のことだな」

女と流行

石島菊枝

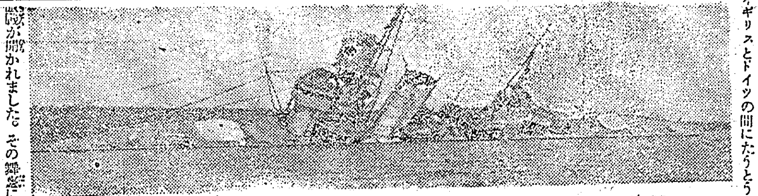
「自肅自戒いたしませう」の立看板の下に、コートを脱いだ[illegible]の若い女の姿を見ると膚色に顔色を通したどぎつい色と、混迷に誘ひこまれさうな細い模様とがこの頃の流行とあつて、和服も洋服もただまばゆいばかりである。この刺戟には、不良少年ならずとも挑まれるものがある。女は男を對象として美しくあらうと思つてゐる。そして、美しく装つたつもりが、ちツとも美しさを與へないで、逆に反感的な惡感を與へる。しかも、當の女自身も肯定し切れぬものをもつてゐるとしたら、それはあまりにも悲劇ではないだらうか。女の弱點を裏表から覗いて知つてゐる男性の、商業主義全盛によつて創り出された流行品に身を埋めて、別な男性からは嫌惡を受けるといふこんな矛盾は、女性として放つておかれていゝはづはない。

女の流行は女の純粋性から創り出していかねばならない。圖案家に、染色家に、服飾家に、女のもつ審美感覚を助長せしめて行くことは無理な希望ではない。順應しやすい特質は、時局と調和した健實で清楚な流行を生み、それによつて時代精神をはつきり表現して行くことも出來る。新しい秩序の中に、かうした女性の進出をも希つてゐる。

お子供さんの時事常識として

ノルウエーを舞臺にして 英佛獨の大海戰 その原因は何でせう

長い間、にらみ合ひのまゝだつたイギリスとドイツの間にたうとう戦争が開かれました。その舞臺になつたのは、ノルウエーとデンマークの二國ですが、中立國であるデンマークやノルウエーが、どうして戦争のなかにまきこまれてしまつたのでせうか?そのお話をしませう。



●ノルウエーは非常に山の多い國で、國中ほとんど山ばかりといつてもいゝ位平野の少ない國です。從つて北海に面してゐる海岸も切りたつたやうな崖が多く、その海岸線一帶にはフイヨルドといふ入江がたくさんあつてその島の間を商船が通つてゐれば一寸沖の方からは分らないといふ有様です。ノルウエーのお隣のスエーデンは鐵がたくさんとれる國で、ドイツではこのスエーデンから一年におよそ六百萬トンほどの鐵を輸入してゐましたが、その輸送には主として冬でも凍らぬノルウエーのナルヴイク港を利用しこゝから入江の間をぬつて船で運んでゐました。またドイツがわづか三時間で占領したといはれてゐるデンマークはノルウエーと反對に山などは殆どなく、國の高さが平均海拔卅米といふ平野に恵まれ、農業が盛んで、肉とか野菜、チーズなどがたくさんとれます。

●さて今度の戦ひはノルウエーの海に英國が機械水雷をおいてドイツへ輸入される品物をやるまいとしたことがきつかけとなつてはじまりました。もしスエーデンの鐵がドイツへはいらぬとしたらドイツとしては大變困ることになるので、武力をもつてノルウエーを占領し英國の計畫に對抗しようとしました。一方食物の豊富なデンマークも、もし英佛側にとられゝば、これまたドイツとしては非常に困るので、こゝでも英國より先にデンマークを占領し、食べ物を安全にしておかうといふつもりのやうです。

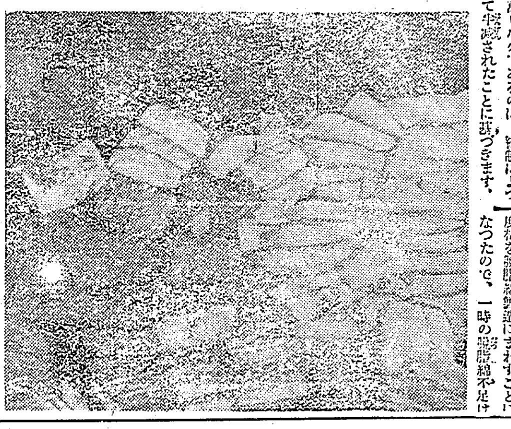
●ドイツの進撃は非常に素早いもので、わづか數時間で二つの國の首都を占領したといふ離れ業を演じましたが、それにはノルウエーは商船の方面では昔からなか〳〵さかんな國で今でも世界第四位、約四百六十萬トン數をもつてゐますが、軍艦は少數の海防艦、驅逐艦、潜水艦しかもつてゐないのです。戦争のあつた場合海岸線は商船を保護し海岸線を守るだけの軍艦をもたなければならないといふことをこの事件は私たちに教へてゐます。ドイツが●デンマークにすんだことによつて飛行機の足だまりをつくることになるでせう。さうなるとドイツは今までより飛行機でも潜水艦でも一層英國の近くへ現はれて活躍することになりますので、英國としてはだまつて見てゐるワケには行きません。こゝに當然ノルウエーを舞臺として英國とドイツの艦隊との間に海戦が起るものと思はれますし、飛行機による空中戦も華々しく開かれるでせう

●戦ひの發展如何はこれから英佛側がいかに攻勢に出るかといふ點によりますが、海軍力からいへば英國とドイツは雲泥の差がありますし、飛行機の數では英國よりもドイツの方がはるかに勝つてゐます。「見敵必戦主義」といつて敵を見れば必ず戦ふ英國海軍の艦隊と、奇襲作戦を得意とするドイツの艦隊と、サアどんな戦ひが北海ではじまるでせうか。

一度使用した 脱脂綿の消毒

大分出廻つた筈ですが

一時脱脂綿の甚だしい不足が問題になりましたが、その原因は元來日本全國の一年の消費量は十五萬ピクルであるのに、統制によつて半減されたことに基づきます。



その上、厚生省・商工省で公定價格を決定したのに、當時は脱脂綿の原料たる天然綿が高く、採算がとれないため製造が減じて賣おしみ買ひ溜を助長し、出廻りがわるくなつたものです

今度商工省で打合せて安價な原料を脱脂綿製造にまわすことになつたので、一時の脱脂綿不足け相當緩和されることになりました

この脱脂綿は二月に設立された全國局方脱脂綿統制株式會社で一括に製造され、醫師會藥業組合を通じて病院や藥局に配給されることになつてゐます。しかし場所によつてはまだ脱脂綿の出廻りのわるい所もあり、手に入りにくいこともあるでせう。で、一度使つた脱脂綿や、普通の綿を脱脂綿にして使用する方法を紹介しますと

一度使つた脱脂綿は、リゾール石鹸を水にとかした溶液の中につけておきます。かうしておくと脱脂綿についたよごれはとれますからこれを更にきれいな水で何回も丁寧にゆすいだのを、洗濯ソーダで煮ます

かうするとよごれもとれ、又消毒もできるので安心して使へます

また普通のわたを脱し綿にするには、洗濯ソーダを平作洗濯する時よりも幾分濃いめにして、この液で煮ると油がとれるのです

これを、きれいな水で丁寧にゆすいでから使ひます

このせん濯ソーダを煮る方法はわただけでなく、すべてのもの、布などをこの方法で煮てから、ソーダ分のなくなるまでよくあらふと、ガーゼの代用として使ふことができます(大妻學校長大妻コタカ女史談)

これから犯され易い

恐しい水虫の話

どうして治すか?

水むしは大人にも子供にも區別なしに出來るものですが、黴菌に依つて起るものと、さうでないものとの二種類あります。

黴菌に依るものは、たむしと同じ性質のもので足などに汗をかきやすい人に最も多く、靴をはいてゐるとこれからはべつとりと汗をかくその爲に黴菌が繁殖し易くなるのである。豫防法としては毎日洗滌した清潔な靴下を用ひ、靴をぬいだら必ず足を石鹸で洗ふ、かうして始終足を乾燥と清潔に保つやうに心がけます。若し萬一出來たら外用藥「ヒコーキ」を近所の藥店から求めて患部につけると直ぐ治ります。皮膚病にはこの藥が一番よく効きます品切れの時は東京日本橋馬喰町二ノ一山崎愛國堂へ注文すれば送つてくれます。

……石鹸の使ひ方……

◆……石鹸は固型のものでも、粉末のものであつても、直接に石鹸を布地につけてはいけません。それでは地質や染色を害するばかりではなく、石鹸がきゝません

◆……石鹸は水にとけてはじめて、汚垢の内部に深くしみ込んでこれを繊維外に運搬するものですから、必ず一旦水にとかして使用することです

木綿物は粉末の石けんでしたら約五升の水に對し茶さじ七八杯絹や毛のものはその半分にうすめるくらゐが適當で

◆……これに一度水洗ひした洗濯物をつけ込んでから洗ふとよくおちます。石けんの分量は、

……

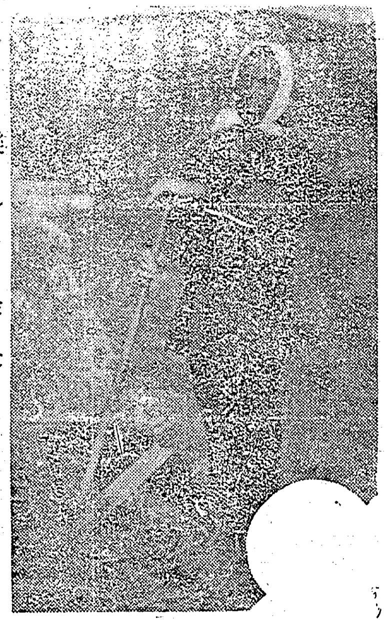
よごれの程度や織物の性質によに、加減することが大切なことです

映畫俳優 志願者 手引書

本書は、日活、松竹、東寶、新興、東京發聲、大都等各撮影所及俳優學校等俳優志願の方法を詳述し、如何にすれば、俳優として成功するか、上京申込の注意等小學卒業以上の方なれば直ぐ判るやう說明せし便利な手引指針書です今スグ四錢切手八枚同封申込あれ一冊進呈

東京世田ケ谷區世田ケ谷四丁目十三 東京發聲映畫撮影所内

關東自由契約映畫俳優協會出版部



樂しき農夫

時局小說

轉進

（製上映畫化）

士別 [illegible]樹

北野 博 画

第百五十一回 門出（四）

「京子おめでたう。大した評判だね」

「え、ありがたう」

「この方を お前は知つて ゐるかね」

[illegible]は傍に立つてゐる美しい令孃を見ながら嬉しさうに訊いたが、京子には見覺えのない顔である。

「紹介しやう。この方は磯田由紀子さんだよ、妹の京子です」

「何卒よろしく」

「私こそ」

磯田由紀子、と云はれて京子は初めて氣がついた。これが磯田[illegible]の娘で、姉が散々苦しめたのかと思ふと、京子の眼から憤りがこみあげてくるのであつた。

その顔色を見て取るやうに

「私、とても貴女様に顔向けなんか出來ないんですけれど、[illegible]さんに會つて來ましたの、[illegible]のことは水に流して下さいませ」

「京子、由紀子さんがお前の門出を祝つて、この花輪を贈つて下すつたんだ。お禮を云ひなさい」

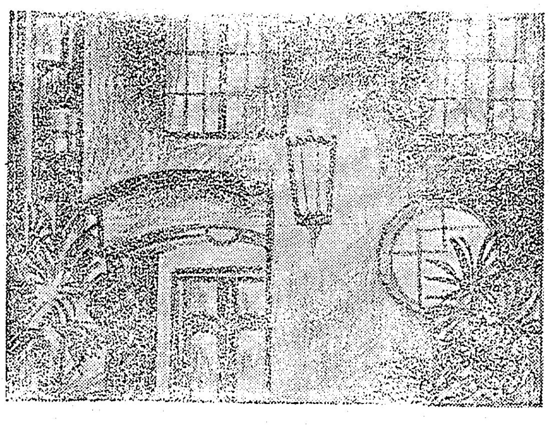
京子は兄にさう云はれて初めてそれを贈つてくれたのが由紀子であつたことを知つた。

「どうも有難う」

さう口では禮を云つたものゝ、心の中ではまだ解け切らないものが殘つてゐた。

彼女の胸には、自分を苦しめた[illegible]の顔が浮んだ、その[illegible]の顔が浮んだ、そして[illegible]の顔が浮んで來た。許せない悲しい氣持がした。然し考へてみると最早一切が過去のことになつてしまつたのだ、自分は彼等に指一本指されなくともいゝのだ世の中の何處に於ても最早このお嬢さんを遙かに[illegible]高い所にゐるのだと思ふと、今此處で憤つたりすることは反つて[illegible]しいやうな氣がするのである。

さう思ふと、京子は初めて心から微笑することが出來た。



最早京子の舞踊家としての力は確認された。最後の「我征かん」は最も好評で、熱狂した觀衆に依つて、最後もアンコールの嵐が起いた。

大成功のうちに發表會も終り、疲れた京子は佐智子と共に自動車に乗り込んで

「先生、色々とありがたう存じました。これも先生のお蔭です」

と禮を云つた。

「いゝえ、これは貴女の力よ、でも隨分長い間苦勞したわねえ、それを思ふと、今夜の成功は當然ですわ」

「わたし嬉しくて、嬉しくて」

京子は涙聲になつてゐた。苦勞を共にして來たこの姉のやうな佐智子と一緒にゐると、何時でも力づけてくるのである。

「[illegible]さんに今夜の成功を見せて上げたかつたわねえ」

佐智子が淋しさうに云つた。

「えゝ、ほんとに殘念でしたわ」

車が[illegible]町へ差しかゝつた時、京子は急に運轉手に丸山町行きを命じた。

車は左へ折れて電車通りを急ぐ、[illegible]、春日町とまたゝく間に過ぎて行つた。

やがて[illegible]町を左にしたと思ふ中に病院の前についてしまつた。

こんなにおそく――と話し合ひながら來たのであつたが、彼女達の尋ねる[illegible]の病室はあか〳〵と電燈が灯つてゐた。

「どうしたんでせう、惡いのか知ら」

二人は急ぐやうにして受付を通り病室へ急いだ。

靜かにドアを開けて中へ入つた二人を認めると[illegible]子が急いで傍へ寄つて來た。

「京子さん、病人はお惡いんですの」

佐智子がそつと訊くと、[illegible]は泣きはらしく顔を伏へながら、[illegible]つて頷いた。

醫師のカンフル注射をするのを三人は默々として見守つてゐた。

[illegible]は今、生と死との境に[illegible]瀬戸際に[illegible]してゐるのであつた。

◎女車掌
（三名至急募集）
1、未經驗者ニ限ル
2、委細面談
3、優遇ス
平市二丁目
三井タクシー
電六八五番

洋酒と喫茶
麗人のサービス
氣分本位の店
タヒラ・ギンザ通り
グリル バッカス
電七〇二番

吉田眼科醫院
平市紺屋町
電話八六番

芳醇!
美味!
たひら正宗
山崎合名會社
電話一〇番

鈴木醫院
平市田町
電話六一三番

メガネは!
平市二丁目
玉屋

これは便利!
▼手を荒らさず
▼絹、毛織物、木綿、スフ生地を傷めず
▼つけておくだけで洗へる
おちのよい
㊡マルミ粉末石鹸
製造元 平市材木町十一番地 電話(呼)四〇八番

内臓外科
レントゲン科
泌尿器科
北川外科
入院隨意
平市新川町(電話四六四番)
醫學博士 北川芳夫

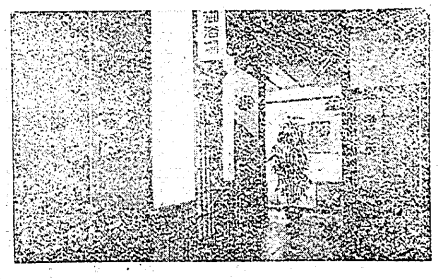
初夏!!!
(とんかつ専門の店)
興亞の春を迎ひどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します。
平市仲田町(電話四六五)
かの家
營業時間
自 午前十一時
至 午後十一時

内科
外科
一般
金成醫院
金成忠義
平市鎌田町
電話三五八番

氷賣場開設
今般御得意様の御便宜を計り工場内氷賣場を廢し大町一若松醫院前に氷賣場を設置、水野隆介を賣場主任に採用仕り候間御引立願上候
追而 凍魚、鹽干物は從來通り本社(電二二八 三一六)にて取扱ひ可申候
平製氷株式會社
氷の御用命は
電話二一九九番
平製氷直營賣所 平市大町

産科
婦人科
專門
平市南町
(入院隨時)
根本醫院
【電話三四番】

鐵道指定旅館
割烹 小瀧
小名濱電話一〇三番



一、産婦人科
一、外科一般
一、花柳病科
小名濱町小學校前
(元土井醫院跡)
黒澤醫院
醫學士 黒澤廣
電話四五番

食事
喫茶
酒場を兼ねた
レストラン
サロン
營業時間
開店…午前十時
御食事は午前十一時より
閉店…午後十一時半限り
平市銀座街
電話五九二番

外科、内科
花柳病科
内臓外科
入院隨意
市原醫院
平市田町大通(電話一一四)
看護婦及見習看護婦數名募集
月十圓以上廿五圓給與
此の外に勤務手當支給

二千六百年を强調する
尚武日本の
お節句!!!
五月人形
▼勇ましい武者人形▲
▼鯉のぼり▲
▼甲冑類▲
……各種豊富に取揃候……
平市二
フクタヤ祝品部